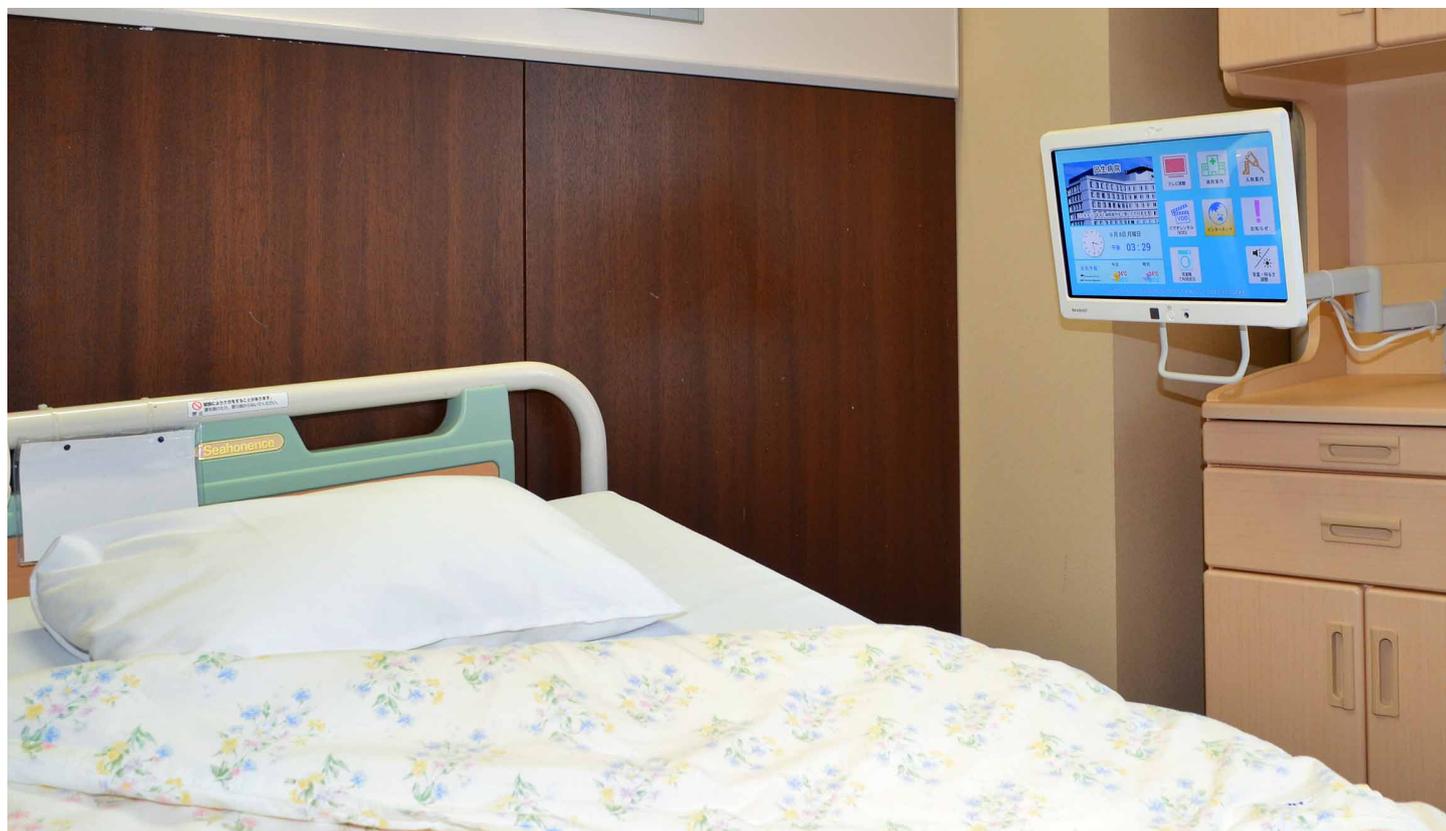


407床のベッドサイドに16V型ITテレビモニターを設置 テレビやネット、VODなど豊富なサービスで入院生活をサポート



導入先

社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院さま

- 香川県坂出市
- 1956年設立。657名のスタッフで地域医療を担われている中核総合・災害拠点病院。2008年には社会医療法人の認定を受けられ、さらに公益性が向上。診療科目数31科。病床数402床。



導入商品

ITテレビモニター

SC-16TV1 (16V型)×407台

- 2015年2月、病室(ICU・HCUを除く)および透析室・化学療法室の計407床のベッドサイドに、可動式アームに取り付けて設置。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

病室のベッドサイドに設置していたテレビが導入から年数が経過し、機器のリプレースに伴って設備更新を検討。テレビとネットを1台で簡単に楽しめ、入院生活を多彩な情報提供でサポートする新サービスも提供できる、新たな情報端末を探していました。

入院患者さまはテレビやネット、VODなど様々なコンテンツを、簡単なタッチ操作でお楽しみいただけます。

病院からのお知らせや施設案内、事故防止の注意喚起などの情報周知にも活用。

ランドリールームの洗濯機と連動して、洗濯機の空きや状況を病室から確認可能に。



社会医療法人財団大樹会
総合病院 回生病院
常務理事 松浦仁平さま

■ 導入の背景

テレビとネットが一台で使えるだけでなく、多彩な情報提供で入院生活をサポートしたい。

当院では、これまで病室のベッドサイドにPCを接続したテレビを設置していましたが、設置年数が経過して故障が発生したり、動作が遅くなるなど問題が次第に現れてきていました。そこで、テレビとネットを1台で簡単に楽しめて、さらに患者さまの入院生活を多彩な情報提供でサポートするサービスを提供できる、新たな情報機器への入れ替えを検討することにしました。

■ 選ばれた理由

アームにすっきりと設置できるタッチパネル一体型。消毒用アルコールで画面を拭き掃除できる点も評価。

シャープのITテレビモニターはクリアな明るい画面で見やすく、操作も画面に直接タッチするだけで簡単なのがメリットでした。またコンパクトなタッチパネル一体型なので、アーム設置により、枕元などの見やすい位置に動かすことができ、配線もすっきりしているので清掃も容易です。画面を消毒用アルコールで拭けるので清潔に管理できる点も高く評価できました。

■ 導入後の効果

テレビやVODに加えて病院案内も配信。ランドリールームの洗濯機も病室から確認可能。

導入後、テレビやネットに加えて、映画やバラエティなどのVODもお楽しみいただけるようにサービスを追加。また、当院の職員と地元のタレントが出演して制作した、院内施設の案内や、転倒・転落防止など事故を未然に防ぐ注意喚起の映像も配信しています。讃岐弁を使った親しみやすいコンテンツで情報の周知にも役立っています。

さらにカスタマイズのしやすさを活かして、ランドリールームの洗濯機とネットワークで連動して、病室にしながら洗濯機の空きや終了予定時間を確認できる機能にも対応。利用者が足を運んで確認する必要がなくなるとともに、洗濯物の置きっぱなしが減ることで、スタッフが院内放送で洗濯後の取り忘れをアナウンスしていた手間もなくなりました。

■ 今後の展望

療養・健康維持に役立つ情報発信を強化。入院生活の利便性をより高めるシステムも検討。

今後は療養や健康維持に役立つコンテンツを増やしたり、食堂の日替わりメニューのご案内、院内の売店と連携した病室からの注文システムの導入など、患者さまが不自由なく入院生活を送れるように、利便性をさらに高めていきたいと思っております。



コンパクトなタッチパネル一体型で、アームにすっきりと設置



407床の病室で、豊富なコンテンツをご利用いただける環境を整備



洗濯機の利用状況を病室から確認できる